



表彰を受けた高木副市長(左)と富田可児地区交通安全協会長(右)

## 交通事故ゼロのまちへ

市内において300日間交通死亡事故ゼロを達成し、今林県警本部長から可児市と可児地区交通安全協会が4月23日に表彰を受けました。

交通安全対策の取り組みとして、交通指導員を中心に運転免許証の自主返納をテーマにした寸劇や、事故にあわないための講話などを行っています。また、今渡北小の児童が交通安全レター作戦などを実施。こうした地域の人の取り組みがあり受賞することができました。

## ミットに届け!!

5月2日に、JABAベーブレース杯争奪全国社会人野球大会がKYBスタジアムで初めて開催(別会場は大垣市北公園野球場)されました。始球式に登場したのは、可児市ふるさと広報大使の塚本明里さん。ミットまであと少し。ワンバウンドのナイス投球。「感動した」と笑顔でマウンドを後にし、大会に華を添えました。

全国から16の社会人野球チームが出場し、予選リーグと決勝トーナメントが行われ西濃運輸が優勝しました。



始球式をする塚本明里さん

## マーノがオープン

5月6日(日)に子育て健康プラザ・マーノがオープンしました。

開館式典では、市長が「今日から子育てを通じた新たなまちづくりがスタートする。『可能性いっぱい』『児』どもが育つよう、地域全体でみんなが手を取り合って子育てを支え、次の世代へと引き継いでいく拠点となればうれしい」と語り、可児の新たな玄関口となる施設のオープンを祝いました。

また開館に合わせ、モバイルプラネタリウムやファミリーコンサート、おひるねアートなどのオープニングイベントも多数開催。オープン初日からたくさんの人でにぎわいました。

マーノは今後子育てサービスはもちろん、年代に合わせた健康づくりにも利用できます。みなさん気軽に足を運んでみてくださいね。



テープカットの様子



おひるねアートで可愛くポーズ



壇上で話す富田市長

## 東美濃の由縁について学ぶ

5月9日、文化創造センター・アールで高齢者大学の第1回目の講座を行いました。同大学は高齢者が健康に生きがいのある豊かな生活を送ってもらえるよう生涯学習の観点から、全9回のさまざまな講座を開催します。

初回は、富田市長が「東美濃国・可児の誇り」をテーマに、可児と東美濃の関わりについて紹介。歴史的に可児が東美濃の中心的な拠点だったことや、市内の山城の魅力などを話しました。



木曽川左岸遊歩道での園児の様子

## 掘れた!! はやく食べたいな♪

4月20日に、保育園児たちがたけのこを掘ったり、竹林に生息する生きものを観察したりして楽しみました。

「竹林で遊ぼう」と題した土田保育園の園外保育の一環で、木曽川左岸遊歩道友の会に協力してもらい毎年開催しています。今年は、はぐみの森保育園(塩)も初めて参加し、約100人の園児たちが友の会と交流しました。採れたたけのこはみんなのおみやげ。お家ではどんな料理になったのでしょうか。気になりますね。

## バラまつり絶賛開催中

5月12日から花フェスタ記念公園で春のバラまつりが開催されています。今年は「妖精」をテーマに、園内には可愛い妖精たちの花園が登場。

写真共有アプリ・インスタグラムでは、「#かにスタ」を使って「インスタ映え」抜群のバラの写真がアップされています。ぜひ皆さんもバラまつりにお出掛けして、「可児のステキ」を発信しましょう。



sachi\_fmifmiさんの投稿写真

## 久々利のまちが幻想的に

4月22日の久々利八幡神社大祭を盛り上げるために、地元住民による前夜祭が行われました。元久々利まちづくり委員会では、子どもたちがふるさとに誇りを持てるまちづくりを目指し活動しています。

今年3月から制作を進めてきた竹あかりアートやオブジェは、大祭で使用される大きな2台の山車の周辺にきれいに飾り付け。夜になるとライトアップし、久々利のまちが優しい光に包まれました。



竹あかりアートと山車